

「しなやかさと強さを培うために」

250716

先日、薮下遊さん、高坂康雄さんが2024年に書いた『「叱らない」が子どもを苦しめる』という本を読みました。昨今、褒めて育てることが有効だという考え方が広がっていますが、それを「叱らない」「叱ってはいけない」というふうに間違えて解釈してしまう方がいると指摘しています。「駄目なことは駄目」という時に叱られないと社会に出てから「世界からの押し返し」（決まりやルール、義務や責任）によってつぶれていくという話です。簡単に言うと小さいうちにわがままを通していたら、大きくなって苦しみますよということです。「世の中は、思い通りにならないことがむしろ多いので、それを受け入れられる「しなやかさ」とへこたれない「強さ」をもってほしいと私は考えています。そのために叱られること、わがままと我慢すること、考え方を柔軟に変えられることが必要でしょう。「しなやかさ」と「強さ」を身につけた子は、自分の思いや考えを広げ、社会という共同体で活躍できる人材に育っていきます。ご家庭でも、このことをご理解いただき、共に子どもたちを正しく導いていきましょう。今後とも学校と「家庭の連携をどうぞよろしくお願いいたします。